

い	山		る	の	ら	虫	森		に	『	た	育	を	の		て	よ	た	
あ	の	作	北	東	出	、	、	生	会	津	太	て	友	執	戦	い	う	作	昨
り	幸	家	端	海	発	大	弘	ま	え	軽	宰	た	人	筆	時	と	品	秋	
、	に	が	の	岸	し	鱈	前	れ	た	』	の	た	た	依	下	手	の	友	
そ	恵	寒	竜	、	本	は	。そ	、	よ	に	三	津	ち	頼	の	に	多	だ	
の	ま	村	飛	蟹	編	序	し	育	う	、	週	北	と	を	昭	し	さ	ち	
海	れ	と	岬	田	の	章	て	ち	な	私	間	端	回	受	和	た	に	と	
辺	て	思	ま	町	旅	に	、	、	気	は	あ	の	り	け	十	作	驚	見	
の	、	っ	で	、	が	思	家	青	が	今	ま	小	、	て	九	品	き	た	
明	作	て	の	外	始	い	族	春	し	迄	り	泊	生	、	年	『	ま	斜	
る	家	いた	旅	ヶ	まり	入	と	を	ま	気	の	に	家	ま	五	津	し	陽	
さ	の	た	で	浜	り	れ	過	謳	し	づ	旅	住	に	だ	月	軽	た	館	
に	好	東	す	、	ま	を	ご	歌	た	か	。そ	む	寄	歩	、	は	も	で	
驚	き	海	。	今	した	籠	した	し	。	な	の	越	り	い	、	あ	つ	、	
き	な	岸		別	。	め	た	た		か	旅	野	、	て	り	と	太		
ま	酒	は		、	津	、	湯	金		っ	を	た	作	い	ま	読	宰		
す	も	海		三	軽	青	治	木		た	描	け	家	な	し	ん	の		
。	い	の		厩	半	森	場	町		太	く	を	太	い	た	で	書		
	っ	幸		を	島	駅	浅	や		宰		訪	宰	津	。	れ	み	い	
	ぱ	、		通		か		青		治		れ	を	軽	」				

津	な	の	は	太	し	死	か	な	の	を	中	い	と	た	軽		の	友	
軽	し	饗	N	宰	、	す	に	く	放	教	、	る	。	凶	五	N	大	人	旅
の	続	応	君	を	防	る	言	て	蕩	え	酒	の	子	作	百	君	ら	た	に
歴	け	ぶ	に	哀	空	太	い	も	に	た	を	だ	の	や	年	は	か	ち	同
史	た	り	心	悼	壕	宰	、	君	責	の	浴	も	苦	津	の	蟹	さ	。	道
や	太	も	が	文	で	の	太	は	任	は	び	の	難	波	記	田	、	私	し
風	宰	凄	熱	に	お	名	宰	大	を	私	る	一	に	の	録	町	は	た	の
土	に	い	く	書	伽	誉	も	酒	感	。	よ	と	一	被	に	で	、	こ	は
記	通	。	な	いた	嘶	を	額	の	じ	そ	う	笑	砂	害	町	会	の	中	学
を	ず	そ	の	人	を	守	く	み	た	の	に	N	漠	に	議	議	人	時	代
見	る	は	で	。	聞	り	。	に	が	後	飲	君	に	員	を	達	の	の	親
る	津	人	す	そ	か	、	友	な	、	の	む	。	生	を	す	中	に	友	、
と	軽	を	。	の	せ	子	情	っ	考	東	作	そ	き	る	る	に	津	軽	N
、	人	拒	一	や	続	病	に	と	え	京	家	し	て	生	年	一	見	の	君
義	の	め	緒	さ	けた	気	厚	、	れ	で	に	、	人	残	度	ま	ま	中	と
経	気	ず	す	し	子	に	く	、	ば	の	、	旅	だ	っ	は	し	。	人	と
伝	質	、	る	さ	煩	苦	、	後	私	君	君	の	っ	た	あ	た	。	々	
説	で	も	S	、	悩	悩	後	に	が	の	に	途	っ	人	あ	。			
や	す	て	君	私	な		自	ら	教	数	酒	途	て	び	っ	津			

自	れ	迅	長	実	て	宰	に	作		き	輕	ら	と	で	人	文	一	北	山
分	る	を	女	朝	、	は	発	品	太	繼	愛	、	作	傲	々	化	度	端	椒
の	の	書	の	、	出	自	禁	群	宰	が	を	そ	家	慢	は	を	も	の	大
思	は	いた	一	西	版	分	と	は	の	れ	れ	は	こ	、	、	創	三	夫	
い	太	「	言	鶴	を	の	な	充	退	て	を	こ	の	臍	負	り	方	の	
を	宰	惜	に	の	重	感	り	実	廃	い	他	の	津	曲	け	上	を	物	
書	の	別	想	作	ね	性	、	し	や	る	人	輕	の	が	を	げ	海	語	
く	弱	「	を	品	た	や	多	て	死	の	に	の	の	り	知	た	で	の	
文	者	な	得	を	稀	考	く	い	の	だ	言	人	意	の	ら	地	困	舞	
学	に	ど	た	ひ	有	え	の	ま	句	と	わ	々	地	っ	な	。	ま	台	
作	寄	。	「	も	の	を	作	す	い	私	れ	を	っ	張	い	藩	れ	で	
品	り	そ	お	と	人	誰	家	官	の	は	と	悪	り	り	、	と	た	も	
で	添	れ	伽	く	で	憚	が	憲	少	気	怒	し	。	。	も	戦	辺	あ	
し	う	ら	草	「	し	る	筆	の	な	付	り	様	反	。	戦	わ	境	っ	
た	優	の	紙	新	た	こ	を	敵	い	き	出	に	骨	。	ず	ず	の	た	
。	し	作	、	積	。	と	折	し	、	ま	す	言	の	。	、	、	地	地	
こ	さ	品	そ	諸	「	な	る	い	戦	し	厚	い	人	。	独	史	。	は	
の	で	に	し	国	右	く	中	検	時	た	い	な	頑	。	特	上	、	本	
遅	あ	流	て	嘶	大	書	、	、	中	。	津	が	「	。	の	、	、	州	
し	り		魯	、	臣	い	太	閱	の		引								

て	で	と	を		い	を	太	の	い	家	蘇	優	父	も	兄		書	な	い
い	あ	の	憎	故	影	誕	宰	弘	影	の	り	し	と	ほ	嫁	迷	か	ら	執
る	り	津	む	郷	を	生	が	前	も	長	ま	く	病	ぐ	や	惑	せ	な	筆
け	、	輕	ー	へ	落	さ	い	高	残	男	す	甘	弱	れ	姪	ば	た	い	を
れ	金	、	と	の	と	せ	まし	校	る	と	°	や	な	て	た	か	文	と	支
ど	木	風	書	思	し	た	した	時	生	六	嚴	か	母	い	ち	り	学	感	え
、	の	土	いた	い	た	大	°	代	家	男	然	さ	に	き	は	か	で	じ	た
憎	生	記	た	を	場	事	金	も	で	で	と	れ	構	ま	優	け	°	た	の
む	家	の	太	問	所	な	木	、	す	あ	し	て	わ	す	し	た		の	は
思	や	中	宰	わ	で	地	の	蕩	°	る	た	気	れ	°	く	生		で	津
い	、	の	が	れ	も	あ	生	児	作	太	家	弱	ず	し	作	家		す	輕
も	青	津	いま	て	あ	り	家	と	家	宰	父	に	、	か	を	の	こ	°	人
あ	春	輕	まし	、	り	、	と	な	の	の	長	淋	使	、	迎	門	れ	これ	の
る	の	は	した	一	ま	後	弘	っ	芽	葛	制	用	人	え	は	入	は	熱	い
一	弘	一	°	汝	した	の	前	た	を	藤	の	人	た	、	津	り	は	津	思
津	前	愛	友	を	°	生	は	も	育	と	残	ち	ち	作	輕	に	は	輕	い
輕	は	す	人	愛		活	、	う	て	屈	地	の	の	家	の	く	は	の	に
な	一	る	た	、		に	作	一	た	折	主	日	中	の	い		血	に	他
の	愛	津	ち	汝		暗	家	人	青	に	の	が	で	の	心		が		
で	し	輕						の	春	暗	の								

美	し	し	考	作	家	に	だ	運	た	か	の	せ	く	で	守	『	生	劇	す
し	た	出	察	作	の	は	け	動	た	せ	一	る	情	す	し	『	に	と	。
く	。	さ	と	家	姿	、	で	会	た	、	心	作	景	。	た	津	繫	重	憎
読		れ	楽	の	が	た	い	会	け	い	に	家	で	。	、	輕	が	な	む
み		て	し	充	滲	け	い	会	は	、	辿	の	す	。	』	り	っ	思	
易		い	い	実	み	に	、	場	忘	語	り	。	。	。	の	、	て	い	
い		て	会	期	出	寄	ら	の	れ	らず	着	三	三	。	住	、	、	は	
文		、	話	に	て	せ	ず	た	が	ま	き	十	十	。	む	幼	斜	そ	
章		私	に	書	い	る	と	け	た	す	ま	年	年	。	越	年	陽	の	
の		の	よ	か	ま	心	も	の	い	。	。	ぶ	ぶ	。	野	期	『	後	
最		大	っ	れ	す	情	。	小	女	沢	。	り	り	。	た	の	』	の	
後		好	て	た	。	、	と	屋	性	山	。	の	再	。	け	で	『	地	
に		き	人	『		甘	い	で	で	の	本	会	に	を	す	。	』	主	
『		な	間	津		え	う	し	した	を	を	、	心	尋			人	制	
さ		一	の	輕		て	太	。	。	作	読	一	と	ね			間	度	
ら		冊	姿	』		安	宰			家	ん	会	き	て			失	の	
ば		に	が	は		心	の			太	で	い	め	行			格	崩	
読		な	よ	、		す	思			宰	聞	い	か	く			』	壊	
者		り	く	深		る	い			を		。	か	旅			の	の	
		ま	映	い		作				育							誕	悲	

